

平成 28 年 8 月 1 日

## サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 沖縄県立球陽高等学校 大城 喜一
2. 講師氏名: Marco Tinello 博士
3. 同行者氏名: なし
4. 実施日時: 平成 28 年 7 月 19 日 (火) 15:40 ~ 16:40
5. 参加生徒: 1 年生 0 人、2 年生 152 人、3 年生 0 人 (合計 152人)  
備考: 国際英語科2年 全員
6. 講演題目: (英文) The Ryukyu Shobun seen from an international perspective  
(和文) 琉球使節を通して見る幕末の明治初期の外交政策
7. 講演概要:

本講演では、講師の出身国であるイタリア、研究者になった動機、来日の理由、研究の必要性・有意義性、論理的且つ批判的に考えることの重要性など、写真等を交えて話が進められた。また、沖縄県の歴史について国際的な観点からお話していただき、締めくくりには、本県の未来を担う世代である生徒たちに博士からの力強いメッセージが送られた。
8. 使用言語: 英語及び日本語
9. 講演形式:
  - (1) 講演時間 50 分 質疑応答時間 10 分
  - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)  
プロジェクター使用による講演
  - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)  
外国人研究者本人による日本語説明
  - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)  
講師が新聞へ寄稿した記事の事前配布
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金  
なし
11. その他特筆すべき事項: 特になし